お客様向けレポート
2023年2月

スパークス・M&S・ジャパン・ファンド
（愛称：華咲く中小型）

投資魅力が増してきた中小型企業

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

業績見通しに自信を強めている投資先企業

当ファンドでは、最近の企業取材を通して業績見通しに自信を強めている企業が増加していると感じており、かつてないほど当ファンドの投資先企業の魅力は増してきていると考えています。

OECD経済成長率（実質GDP伸び率）
（2022年11月22日発表　予測値）

国・地域	2022年	2023年	2024年
日本	1.6%	1.8%	0.9%
米国	1.8%	0.5%	1.0%
ユーロ圏	3.3%	0.5%	1.4%

2023年は、景気悪化懸念が高まる欧米市場に対し、日本市場は2022年までの出遅れやインバウンド需要回復が下支えとなり、欧米を上回るプラス成長が期待できる

最近の企業取材を通して感じること

業績見通しに自信を強めている企業が増加、かつてないほど当ファンドの投資先企業の魅力は増している

当ファンドの考え

世界的なインフレのピークアウト
↓
遅れていた日本企業の価格転嫁が進む
↓
企業収益の改善が見込まれる！

組入銘柄例
前田工繊（7821）
NITTOKU (6145)

脱炭素社会への推進
↓
日本の高い技術力への注目が進む！

組入銘柄例
日精エー・エス・ビー機械（6284）
九電工（1959）

サプライチェーンの脱中国依存の動き
↓
日本への製造回帰
↓
国内製造業の国際競争力が高まる可能性も！

組入銘柄例
シークス（7613）
アルバック（6728）

特に中小型企業は・・
⇒大型企業に比べ、国内売上高構成比が高いため、為替による業績のブレが比較的少なく、国内全体よりも高い利益成長が期待できる！

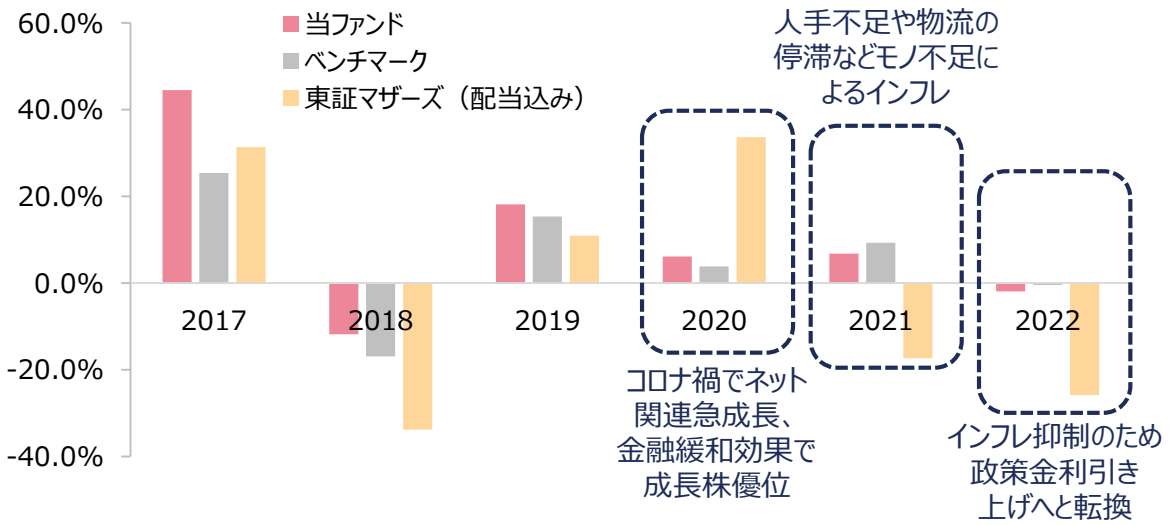
※　上記は当ファンドへの理解を深めていただくためのご参考資料であり、特定の有価証券等を推奨しているものではありません。画像はイメージです。
出所：　各種資料、スパークス・アセット・マネジメント（2023年1月末日現在）

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。

過去3年間の市場環境と直近のパフォーマンス

当ファンドと株式指数の騰落率比較

（2017～2022年）



2020～2022年の市場環境

✓ 様々なニュースフローに株式市場が左右された
✓ 外部環境の大幅な変化により企業独自の成長要因が重視されず

⇒ボトムアップ・リサーチを行うアクティブファンドにとって非常に厳しい市場環境

今後の見通し
コロナ禍を経て社会環境が正常化に向かう中、
改めて企業独自の競争力が問われる環境に

⇒ボトムアップ・リサーチの効果が発揮される市場展開へ！

当ファンド直近パフォーマンス

（2023年1月31日現在）

	当ファンド	ベンチマーク	当ファンドとベンチマークの差
1ヶ月間	4.3%	3.6%	0.7%
3ヶ月間	3.4%	2.2%	1.2%
6ヶ月間	6.3%	2.9%	3.4%
1年間	11.4%	8.7%	2.7%

直近1年はベンチマークに対してアウトパフォーム

※ 当ファンドは分配金再投資基準価額であり、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。
※ 当ファンドのベンチマークは、ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数（配当込み）ですが、当ファンドはベンチマークに連動するものではありません。
出所： スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc.（2023年1月末日現在）

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。

どんな中小型株に投資？

NECネッツエスアイ（1973）

数千社に上る企業にデジタル化推進のための
コンサルティングや設計・構築サービスなどの提供

**「世界に出遅れた日本企業の
デジタル化」の課題解決の力に**

（同社のソリューションサービス導入事例）

日本郵便
⇒テレワーク実施率70%に向上
豊田通商
⇒ Zoom導入でコミュニケーション＆働き方改革を推進

など他多数

前田工繊（7821）

河川、道路補強等の土木資材の大手、
魅力ある地方企業の買収にも注力

**買収した自動車ホイール「BBS」
は世界的なハイブランド**

⇒軽くて強く、デザイン性にも優れたホイール製造技術で、F1やアメリカで人気のカーレース「NASCAR」に独占供給、世界の高級車にも採用されている

日本光電工業（6849）

病院の集中治療室などに使われる
心電計、AEDなどを提供

**患者のモニタリング可能な心電計は
病院内のデジタル化につながり、
医師や看護師に大きく貢献**

⇒心電計は海外でも売り上げ拡大中。今後の成長は期待大
⇒人口呼吸器もコロナ禍で多くの病院に採用された

日精エー・エス・ビー機械（6284）

ペットボトルなどのプラスチック容器や
容器を作る機械を製造

**食品・飲料用から化粧品、洗剤容器まで
様々な容器を作れる高い技術力**

⇒「密封性・耐久性」などの高品質力は世界で高い評価を獲得。安全で衛生的なプラスチック容器の需要は今後も堅調に推移する予想
⇒リサイクルペットボトルへの対応には30年来の実績あり

※　上記はご参考資料であり、特定の有価証券等を推奨しているものではありません。画像はイメージです。
出所：　会社開示資料、スパークス・アセット・マネジメント（2023年1月末日現在）

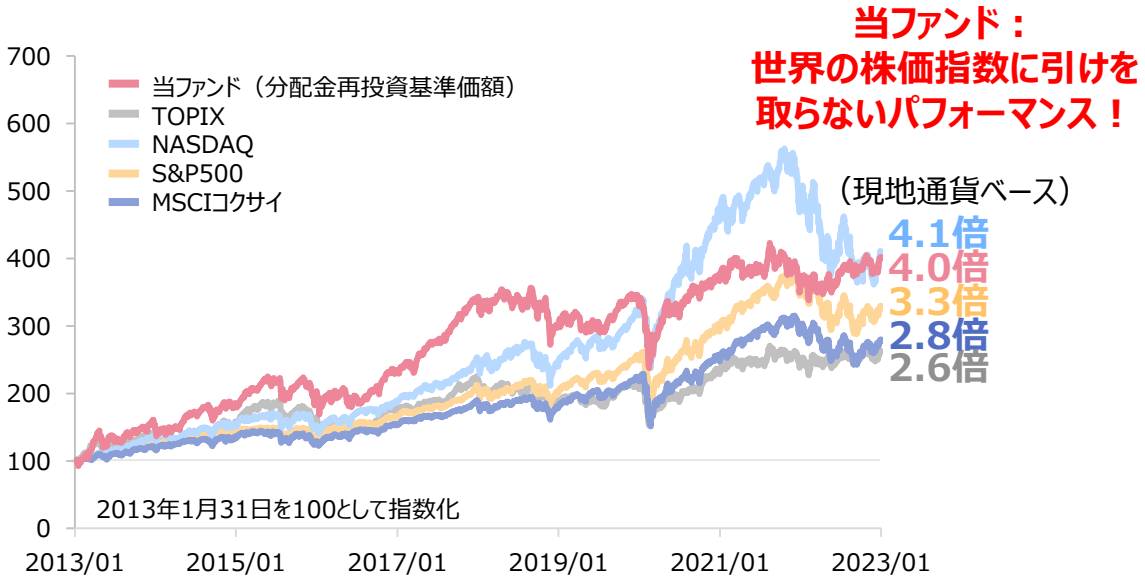
当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。

世界の株価指数と比較すると？

当ファンドのパフォーマンスと世界の主な株価指数（配当込み・現地通貨ベース）を10年前から比較すると、当ファンドは世界の主な株価指数にも引けを取らないパフォーマンスであることがお分かりいただけます。これはスパークスのボトムアップ・リサーチによって、個別銘柄をしっかりと選定してきたからこその実績だと考えています。

当ファンドと世界の主な株価指数（配当込み・現地通貨ベース）推移比較

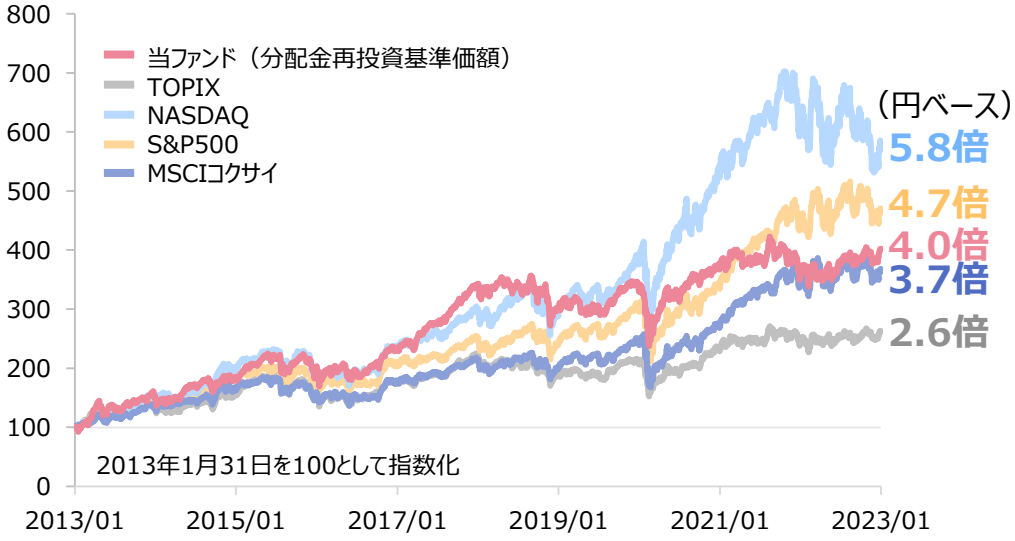
（2013年1月31日～2023年1月31日）



当ファンドと世界の主な株価指数（配当込み・円ベース）推移比較

（2013年1月31日～2023年1月31日）

（ご参考）米ドル/円　2013年1月末 91.2円 ―― 10年間で 42.5%円安に ――→ 2023年1月末 130.0円



10年前と比較すると為替は円安に。海外株指数の上昇は、為替による影響も大きかった。

※　分配金再投資基準価額は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。
出所：　スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc.（2023年1月末日現在）

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。

スパークス・M&S・ジャパン・ファンド（愛称：華咲く中小型）

当資料はお客様向け資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。

■投資リスク

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資等を通じて、株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。
従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。
ファンドが有する主な変動要因は、次の通りです。※基準価額の変動要因（投資リスク）は、下記に限定されるものではありません。
●株価変動リスク　●中小型株式等への投資リスク　●信用リスク　●その他（システムリスク・市場リスクなどに関する事項）
ファンドのリスクなどについては、「投資信託説明書（交付目論見書）」にくわしく記載されております。お申込みにあたっては、必ず内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

■その他の留意点

- ●当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ●収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。
  収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
  投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
  収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ●当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

■ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入申込受付日の基準価額に3.3%（税抜3.0%）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。　※詳しくは販売会社までお問い合わせください。 購入時手数料は、商品の説明、販売の事務等の対価として販売会社が受け取るものです。
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に対して0.3%の率を乗じて得た額をご負担いただきます。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用（信託報酬）	日々の信託財産の純資産総額に対して年率2.057%（税抜1.87%）を乗じて得た額とします。 運用管理費用（信託報酬）は、ファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。 運用管理費用（信託報酬）＝運用期間中の基準価額×信託報酬率
監査費用 印刷費用	監査費用、印刷費用などの諸費用は、ファンドの純資産総額に対して年率0.11%（税抜0.10%）を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。 ※監査費用：ファンドの監査人に対する報酬および費用 印刷費用：有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用
その他の費用・手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、その都度信託財産から支払われます。 これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。 ※組入有価証券の売買委託手数料：有価証券の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 信託事務の諸費用：投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息

※当該手数料等の合計額については、ファンドの購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

■当ファンドのベンチマークについて

ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数（配当込み）は、Russell/Nomura日本株インデックスのサイズ別指数です。
Russell/Nomura 日本株インデックスは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社（以下「NFRC」といいます。）が公表している指数で、その知的財産権はNFRC及びRussell Investments に帰属します。なお、NFRC及びRussell Investments は、ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数（配当込み）の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、スパークス・アセット・マネジメント株式会社がラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数（配当込み）を用いて行う事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

■お申込みメモ

商品分類	追加型投信／国内／株式
購入単位	販売会社が別に定める単位　※詳しくは販売会社までお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額
換金価額	換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
信託期間	2027年1月25日まで（2007年1月31日設定）
決算日	毎年1月25日（休業日の場合は翌営業日）

■ファンドの関係法人について

- 委託会社　スパークス・アセット・マネジメント株式会社
  金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第346号
  （加入協会）一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
  一般社団法人第二種金融商品取引業協会
  信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。
- 受託会社　三井住友信託銀行株式会社
  委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき株式会社日本カストディ銀行に委託を行います。
- 販売会社　下記一覧参照
  ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱等を行います。

販売会社		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	
ＳＭＢＣ日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社ＳＢＩ証券※1	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○		○
岡三証券株式会社※2	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第53号	○	○	○	○
おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第19号	○			
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第65号	○			○
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第６号	○			
株式会社十八親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第3号	○			
十六ＴＴ証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第188号	○			
株式会社ＳＢＩ新生銀行（委託金融商品取引業者：株式会社ＳＢＩ証券）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○	○		
株式会社ＳＢＩ新生銀行（委託金融商品取引業者：マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○	○		
東海東京証券株式会社※1	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○	○		○
西日本シティＴＴ証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第75号	○			
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第7号	○	○		
PayPay 銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第649号	○	○	○	
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第181号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第346号	○		○	○

※1　株式会社ＳＢＩ証券、東海東京証券株式会社は、一般社団法人日本STO協会に加入しています。
※2　岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会に加入しています。

■指数について

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXは、株式会社ＪＰＸ総研又は株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」といいます。）の知的財産であり、ＪＰＸはTOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCIコクサイ・インデックス

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。